

国立天文台教授が宇宙を解説

核融合研
で講演会

土岐市下石町の核融合
科学研究所で、国立天文
台の教授らを招き、地球
に約六万年ぶりに接近し
ている火星についての講
演会が開かれた。

同研究所は来年四月か

ら「共同利用機関法人
自然科学研究機構」とし

て、国立天文台(東京)

など四つの機関と共同の
法人となる。これを機に、

原子について解説。「人

間の原子は星の中の核融
合反応でつくられた」な
どと分かりやすく説明し
た。大型ヘリカル実験棟
の装置見学なども行われ
たが、天候不良で火星観
望会はできなかった。



「すばる望遠鏡でみる深宇宙」について講演する
家正則教授。土岐市下石町、核融合科学研究所